

# 悠悠手にしてほしい一冊

第9号 宇都宮大学附属図書館

平成25年12月

何を読めばいいのか分からない…そんなあなたにオススメの図書をご紹介します！  
購入予定図書の情報は、準備が整い次第ブックログ版に掲載しております。  
ブックログ版には、右のQRコードよりアクセス出来ます（スマートフォン用）。  
様々な本と出会い、悠悠自適な図書館ライフをお送りください。



## 暇と退屈の倫理学 國分功一郎

何をしてもいいのに、何もすることがない。  
だから、没頭したい、打ち込みたい……。  
でも、ほんとうに大切なのは、自分らしく、  
自分だけの生き方のルールを見つけること。  
朝日出版社

暇と退屈の倫理学 國分功一郎著 朝日出版社

推薦者：国際学部4年生 加藤 ジオランデル

スケジュール帳を開いてみてください。あなたのスケジュール帳に書かれている予定は、暇と退屈を潰すためにあるのではないのでしょうか。「いかに暇をつぶすか」が人間の（特に大学生の）切実な問題なのです。本書は、人間の退屈の問題を人類史と西洋哲学から考えます。質の高い暇つぶしのヒントが隠されています。

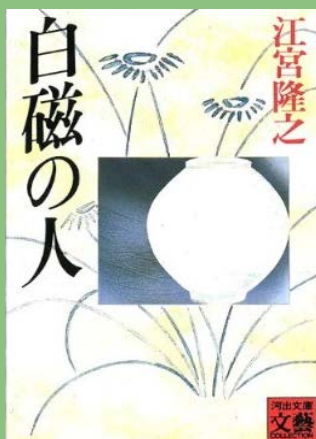
配置場所：本館開架2F 請求記号：104| |Ko45

## 逝きし世の面影(平凡社ライブラリー) 渡辺京二著 平凡社

推薦者：教育学部准教授 高山 慶子

「逝きし世」とは今はなき江戸期の文明（生活のありよう）。本書は幕末維新期に来日した外国人の記録を通して、近代化・欧米化する以前の日本社会の実態を描いたもの。当時の日本の人びとの様子をいきいきと浮かび上がらせるとともに、その後何が失われ何が変化したのか、現代がいかなる社会であるのかを問いかける。

配置場所：開架2F 請求記号：081.6| |H51| |552



白磁の人(河出文庫) 河宮隆之著 河出書房新社

推薦者：国際学部教授 丁 貴連

本書は、「外国から愛された人々」として、日本のシンドラーと呼ばれる杉原千敏と共に、中学校の教科書に取り上げられている浅川巧の短かった人生を、小説にまとめ上げたものです。浅川巧は、1914年朝鮮半島に渡って林業技師として山林の緑化運動を展開する傍ら、民衆の暮らしの中で使われている膳の収集や研究に打ち込むなど、近代化とともに忘れられていく民芸品の美しさを発見し、韓国の民芸運動に計り知れない影響を及ぼした人物です。

配置場所：購入予定

## 働くことがイヤな人のための本(新潮文庫)

中島義道著 新潮社

推薦者：基盤教育センター講師 廣内 大輔

自分の意思とは無関係にこの世に生まれ、いずれ消されてしまう。全ての人生に初期設定されるこの不条理に着目することで、働くことへの不安や悩みを和らげてくれる?本。中島義道の鍛え上げられた“芸”が光る一冊。社会的な成功を収めるほど、生きることそのものを見つめる目を曇らせるという指摘には唖らされる。

配置場所：キャリア3F 請求記号：366|N34



## メタマジック・ゲーム：科学と芸術のジグソーパズル

D.R. ホフスタッター著；竹内郁雄ほか訳 白揚社

推薦者：工学研究科准教授 小池 正史

なにしろ楽しい本。話題は言葉遊びのような自己言及文，変形するタイル，ショパンの曲の譜面，フォントの特徴，囚人のジレンマ，Lisp 言語などに広く及ぶ。饒舌な語り口は難しさを感じさせない。大部だが，月刊誌連載から成った本なので拾い読みも可能。本書を楽しめたら，同著者の「ゲーデル・エッシャー・バッハ」もぜひ。

配置場所：分館開架1F 請求記号：401||H81

## 水神(新潮文庫) 帚木蓬生著 新潮社

推薦者：農学部教授 松井 宏之

皆さんの周りを流れる川を調べてみると，先人が苦勞し築き上げた農業用の水路だったということが少なくありません。この本は「眼前を滔々と流れる大河の水で乾いた農地を潤すため，庄屋，百姓らが思いを一つにして，取水施設，用水路を築き上げる」という話で，農業における灌漑（かんがい）の大切さを感じさせてくれます。

配置場所：購入予定



## From U.U.Library

●学生選書コーナー（本館2階および分館）をリニューアルいたしました。選ばれた本は計272冊です。参加された学生さんたちによる手書きのポップにも注目！

●本館3階展示スペースにて，企画展「田中正造再考～没後100年，日本初の公害事件に学ぶ」を開催中です。

